

新版 神経質の本態と療法

森田療法を理解する必読の原典

第六

強迫観念症
神経質の原因的関係

先天性素質について

神経質と体型

機会的原因

後天的に起こる場合

目次

序

第七

神経質の病類位置と精神的変質の分類

神経質に対する従来の見解

神経質に対する私の見解

変質者とは何か

人格の判定

変質者に関する私の分類

第一編 神経質の本態

第一 緒言

第二 私のヒポコンドリー性基調説

神経質に対する生理的諸説

神経質に対する心理的諸説

精神的傾向

ヒポコンドリーとは何か

強迫観念の発生

神経質の症状は主観的である

第二編 神経質の療法

第一 緒言

第二 本療法の原理

思想の矛盾

主観と客観

感情と智識

体得と理解

信念と判断

論理の錯誤

自然と人為、目的と手段

観念の客観的投影

自然服従

精神の拮抗作用

境遇の選択

主観ということの意味

注意について

注意と意識との関係

精神の調和作用

無所住心

感情の法則

神経質療法の着眼点

第三 私の精神交互作用説

精神交互作用とは何か

私のいう精神性心臓症とは

潜在意識説について

恐怖感動

不快感情の執着

第四 意識と注意に関する私見

精神現象——連合作用

刺激と意識との関係

意識の対目的性

無意注意と有意注意

暗示作用

注意の執着

第五 神経質の分類

神経質の三病型

普通神経質

いわゆる神経衰弱症の否定

発作性神経症

第三 一般神経質に対する私の特殊療法

- 本療法の起源
- 第一期 臥褥療法
- 第二期 軽い作業療法
- 第三期 重い作業療法
- 第四期 複雑な実際生活期

第八 神経質療法の治験から得る応用方面

- 一般疾病との関係
- 病覚について
- 宗教と人生観
- 迷信との関係
- 教育および衛生との関係

* 主要な参考文献

第四 本療法による治療効果

- 治療成績
- 症状の治療過程
- 全治患者の例
- 器質的慢性患者の治療
- 治療行為
- 従来諸種療法の弊害

付録

- 第一 私の神経質療法に成功するまで
- 第二 催眠術療法の価値
- 第三 臨場苦悶——臨床講義

第五 発作性神経症の療法

- 発作性神経症とは何か
- 心悸亢進発作の例
- 胃痙攣様発作の例
- 陣痛様発作の例

第六 強迫観念症の療法

- 強迫観念の性質
- 強迫観念療法の着眼点
- 恐怖突入
- 窃盗恐怖患者の治療例
- 私の方法による治癒経過

第七 説得療法

- 説得療法とは何か
- 論理的説得の弊害
- 精神の執着
- 自我中心的独断
- 自然に帰れ
- 執着は偏見
- 精神の流転
- 恐怖に対する態度
- 宗教的及び哲学的説得